

1 事業内容

事業の名称 近豊土〜で show!

日時 6月14日～11月8日

場所 近畿大学附属豊岡高等学校

内容 この但馬地域における様々な分野の専門家や、経営を含めて実践されている方々を定期的に招き、生徒（但馬全域の小中高生）の主体性も配慮した授業や体験を、計画的に開催する。

【事業経過】

月 日	実施内容	場 所	参加人数
6月14日	地域連携型補講 全体会「wellbeing なくらし」 講師 木築基弘 氏 多文化共生「日本語上手です ね！は誉め言葉？」 講師 河本美代子 氏 金融教育「マネーゲーム」 講師 井関朔也 氏 キャリア教育① 講師 坂本裕 氏 谷岡善裕 氏 他 バラエティー講座 講師 近大豊岡高校教員	近畿大学附属豊岡高等学校	121人
10月25日	地域連携型補講 多文化共生「強制と共生」 講師 河本美代子 氏 由利昇三郎 氏 金融教育 「金融人生ゲーム」 講師 井関朔也 氏 キャリア教育② 講師 坂本裕 氏 谷岡善裕 氏 他 バラエティー講座 講師 近大豊岡高校教員	近畿大学附属豊岡高等学校	176人
11月8日	地域連携型補講 医療「未来の医療福祉」 講師 千葉善幸 氏 多文化共生「異文化体験」 講師 河本美代子 氏 金融教育「未来に向けて」 講師 井関朔也 氏 キャリア教育③ 講師 坂本裕 氏 谷岡善裕 氏 他 バラエティー講座 講師 近大豊岡高校教員	近畿大学附属豊岡高等学校	163人

2 事業の効果

(1) 団体（組織）内の効果

通常授業とは異なる学びの場を提供することで、参加した児童や生徒の主体性と学習意欲の向上につながった。特に、外部講師や地域社会で活躍する大人との交流を通じて、児童や生徒が自分の将来像を具体的に描く機会が増えたことは大きな成果である。また、教職員にとっても新たな授業設計や学校外リソースの活用方法を共有する契機となり、教育活動の質的向上が図られた。

(2) 地域への波及

本取組は、地域住民・事業者に対し、「学校が地域社会と連携しながら育てる教育機関である」という認識を広げる機会となった。地域の専門性を活かした講座への参加により、学校と地域の双方向の関係性が強まり、地域全体の教育への関心向上にも寄与した。さらに、地域住民自身が教育活動に参画することで、「地域で子どもを育てる」という意識の醸成が進んだ。

3 協働の相手方

豊岡商工会議所から、キヅキ商会木築社長、事務機のサカモト坂本社長
ステンドグラス豊岡から河本氏
フィールサプライから井関氏 他

4 今後の課題等

(1) 団体（組織）活動を継続するための工夫等

- ・外部講師・地域協力者の確保を継続的に行うため、年間を通じた連絡体制の構築を進める。
- ・運営マニュアルや年間計画の標準化を図り、企画・準備の効率化を推進する。
- ・児童・生徒からのフィードバックを蓄積し、講座内容を毎年度改善するサイクルを確立する。

(2) 地域活動を拡大していくための工夫等

- ・地域住民に向けて講座成果や生徒の学びを発信し、参加意欲を高める広報活動の強化を図る。
- ・地域ニーズの把握を行い、学校と地域双方にとってメリットのある持続可能な関係構築を目指す。



キャリア教育
「就活講座」
6月14日
講師：坂本氏
講師補助：谷岡氏



全体講演会
「well being なくらし」
6月14日
講師：木築氏



多文化共生講座
「強制と共生」
10月25日
講師：ステンド
グラス豊岡
森氏、河本氏、
佐藤氏



金融教育
「未来に向けて」
11月8日
講師：フィールサプライ
井関氏